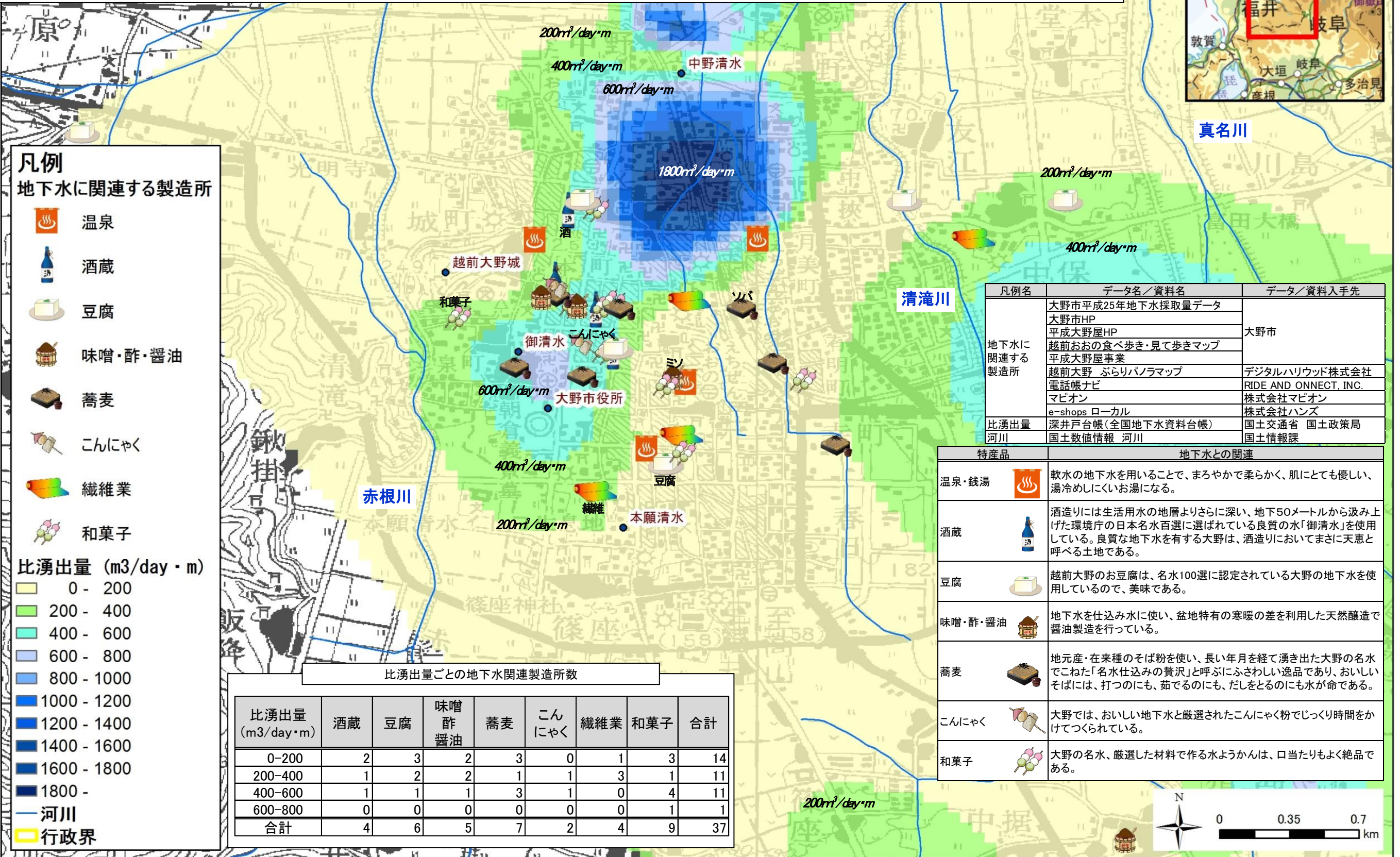


## 図7 地域産業に寄与する地下水

大野市内で営まれている産業のうち、地下水との関連性が深いと考えられるものを抽出して図示した。合わせて、比湧出量も示した。比湧出量とは、水位変動量に対する揚水量の割合（揚水量/水位変動量）を表し、ある井戸で地下水位を1m低下させる揚水を1日汲み続けた時の揚水量を意味する。比湧出量が高い場所は地下水を汲んでも水位が下がりにくい地域であることを示す。計算式は右下に示す。

37ある製造所のうち23製造所（全体の62.1%）は200m<sup>3</sup>/day/m以上の比湧出量がある地域に存在することがわかった。大野市では、古くから地下水を生かした繊維業や酒・味噌・醤油などの食品加工業が盛んであり、良質な地下水の保全是これら特産品の継承や発展につながるものと考えられる。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第758号）」

図中の数字は比湧出量を示す。計算式：比湧出量【m<sup>3</sup>・day<sup>-1</sup>・m<sup>-1</sup>】=揚水量【m<sup>3</sup>/day】÷（自然水位【m】-揚水水位【m】）  
参考資料 3-10

注意！！ 本資料の作成にあたっては、専門家の助言をうけておりますが、利活用にあたっては、専門家の監修を受けるようにして下さい。